

資料1

# 平成28年度保険料率について

# 平成28年度保険料率に関する論点について

## 1. 28年度保険料率

28年度保険料率についてどのように考えるべきか。

○ 直近の5年収支見通し(27年9月試算)等も踏まえて、28年度保険料率についてどう考えるか。

## 2. 激変緩和措置

28年度の激変緩和措置についてどのように考えるべきか。

○ 28年度の激変緩和率についてどう考えるか。

※ 平成27年度の激変緩和率は3.0/10。

※ 今年の5月に成立した医療保険制度改革法により、激変緩和措置の期限が、医療に要する費用の適正化等に係る協会の取組の状況に応じて平成36年3月31日までの間で政令で定める日とされているが、現時点では、激変緩和措置の期限は平成32年3月31日まで。期限までに激変緩和率を均等に引き上げる場合は、毎年度1.4/10ずつ引き上げる必要。

## 3. 変更時期

保険料率の変更時期は、4月納付分からでよいか。

協会けんぽ（医療分）の平成26年度決算を足元とした  
収支見通し（平成27年9月試算）について  
（概要）

○ 試算の趣旨

- ・ 協会けんぽ（医療分）の平成26年度決算<sup>（注）</sup>を足元として、一定の前提のもとに機械的に試算した平成31年度までの5年間の収支見通しを、今後の協会けんぽの財政運営の議論のための基礎資料としてお示しします。

（注）平成27年7月8日公表

1. 平成26年度の協会けんぽの決算について  
(平成27年7月8日公表)

協会けんぽの平成26年度の収支【医療分】

(単位：億円)

		26年度決算
収 入	保険料収入	77,342
	国庫補助等	12,559
	その他	1,134
	計	91,035
支 出	保険給付費	50,739
	老人保健拠出金	1
	前期高齢者納付金	14,342
	後期高齢者支援金	17,552
	退職者給付拠出金	2,959
	その他	1,716
	計	87,309
単年度収支差		3,726
準備金残高		10,647
保険料率		10.0%

(注) 協会会計と国の特別会計との合算ベースである。

2. 5年収支見通し(平成27年度～平成31年度)について

- 平成26年度の協会けんぽ(医療分)の決算を足元とし、一定の前提をおいて、平成31年度までの5年間の収支見通し(機械的試算)を行った。
- 平成27年度と平成28年度の賃金上昇率は、平成24年度～26年度の標準報酬月額の実績等を勘案し、対前年度比で0.8%とした。

- 平成29年度以降の賃金上昇率は、次の3ケースの前提をおいた。

	平成29年度	平成30年度	平成31年度
I 低成長ケース(注) ×0.5	1.45%	1.4%	1.35%
II 0%で一定	0%	0%	0%
III 過去10年間の平均で一定	▲0.2%	▲0.2%	▲0.2%

(注) 低成長ケースは、内閣府の「中長期の経済財政に関する試算(平成26年1月20日)」の参考ケースに準拠する経済前提であり、厚生労働省「国民年金及び厚生年金に係る財政の現況及び見通し(平成26年財政検証結果)」(平成26年6月)における低成長(ケースF~ケースH)にも用いられているものである。

- 平成27年5月に成立した「持続可能な医療保険制度を構築するための国民健康保険法等の一部を改正する法律」の制度改正等について、下記の影響額等を試算に織り込んでいる。但し、平成29年4月に予定されている消費税の引上げに伴う診療報酬改定の影響<sup>(注)</sup>は織り込んでいない。

(注) 消費税対応分は、平成26年4月の5%から8%への引き上げの影響(1.36%)を参考に、機械的に仮置きしている。

(参考) 主な制度改正事項

- 標準報酬月額の上限引上げ(28年度実施)
- 標準賞与額の上限引上げ(28年度実施)
- 入院時食事療養の標準負担額の改正(現在1食260円、28年度から360円、30年度から460円)
- 協会けんぽの国庫補助率16.4%。但し、準備金が法定準備金を超える場合、新たに積み立てられた準備金の16.4%を国庫補助から減額。(27年度実施)
- 後期高齢者支援金の総報酬割(27年度:1/2、28年度:2/3、29年度以降:全額)
- 前期高齢者納付金における前期高齢者に係る後期高齢者支援金の調整は、総報酬及び前期高齢者加入率を基に算定(29年度実施)

【試算結果】

①現在の保険料率（10%）を据え置いた場合

賃金上昇率		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
I 低成長 ケース×0.5	保険料率	10.0%	10.0%	10.0%	10.0%	10.0%
	収支差	2,700	2,800	1,000	1,400	1,300
	準備金	13,300	16,100	17,200	18,500	19,800
II 0%で一定	保険料率	10.0%	10.0%	10.0%	10.0%	10.0%
	収支差	2,700	2,800	▲ 100	▲ 600	▲ 1,700
	準備金	13,300	16,100	16,000	15,400	13,700
III 過去10年間の 平均で一定	保険料率	10.0%	10.0%	10.0%	10.0%	10.0%
	収支差	2,700	2,800	▲ 200	▲ 900	▲ 2,100
	準備金	13,300	16,100	15,900	15,000	12,800

②均衡保険料率（単年度収支が均衡する保険料率）

賃金上昇率	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
I 低成長ケース×0.5	10.0%	9.7%	9.9%	9.8%	9.8%
II 0%で一定	10.0%	9.7%	10.0%	10.1%	10.2%
III 過去10年間の平均で一定	10.0%	9.7%	10.0%	10.1%	10.3%

（注1）平成27年度は10%としている。

（注2）均衡保険料率は小数点第2位以下を四捨五入している。

（参考）

○ 法定準備金

協会けんぽは保険給付費及び高齢者医療への拠出金（国庫補助を除く）の1ヵ月分の準備金を積み立てなければならない（健康保険法第46条第1項）。

法定準備金の平成28年度～31年度の粗い見通しは以下の通り。

（単位：億円）

平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
6,300	6,500	6,600	6,600

(別紙) 均衡保険料率を踏まえ保険料率を変更した場合

(1) 平成28年度以降 9.7%

(単位: 億円)

賃金上昇率		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
I 低成長 ケース×0.5	保険料率	10.0%	9.7%	9.7%	9.7%	9.7%
	収支差	2,700	400	▲ 1,400	▲ 1,100	▲ 1,200
	準備金	13,300	13,700	12,200	11,100	9,900
II 0%で一定	保険料率	10.0%	9.7%	9.7%	9.7%	9.7%
	収支差	2,700	400	▲ 2,500	▲ 3,100	▲ 4,100
	準備金	13,300	13,700	11,200	8,100	4,000
III 過去10年間の 平均で一定	保険料率	10.0%	9.7%	9.7%	9.7%	9.7%
	収支差	2,700	400	▲ 2,700	▲ 3,300	▲ 4,500
	準備金	13,300	13,700	11,000	7,700	3,200

(2) 平成28年度以降 9.8%

(単位: 億円)

賃金上昇率		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
I 低成長 ケース×0.5	保険料率	10.0%	9.8%	9.8%	9.8%	9.8%
	収支差	2,700	1,200	▲ 600	▲ 300	▲ 400
	準備金	13,300	14,500	13,900	13,600	13,200
II 0%で一定	保険料率	10.0%	9.8%	9.8%	9.8%	9.8%
	収支差	2,700	1,200	▲ 1,700	▲ 2,300	▲ 3,300
	準備金	13,300	14,500	12,800	10,500	7,300
III 過去10年間の 平均で一定	保険料率	10.0%	9.8%	9.8%	9.8%	9.8%
	収支差	2,700	1,200	▲ 1,900	▲ 2,500	▲ 3,700
	準備金	13,300	14,500	12,600	10,100	6,400

(3) 平成28年度以降 9.9%

(単位: 億円)

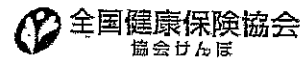
賃金上昇率		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
I 低成長 ケース×0.5	保険料率	10.0%	9.9%	9.9%	9.9%	9.9%
	収支差	2,700	2,000	200	500	500
	準備金	13,300	15,300	15,500	16,100	16,500
II 0%で一定	保険料率	10.0%	9.9%	9.9%	9.9%	9.9%
	収支差	2,700	2,000	▲ 900	▲ 1,400	▲ 2,500
	準備金	13,300	15,300	14,400	13,000	10,500
III 過去10年間の 平均で一定	保険料率	10.0%	9.9%	9.9%	9.9%	9.9%
	収支差	2,700	2,000	▲ 1,000	▲ 1,700	▲ 2,900
	準備金	13,300	15,300	14,300	12,500	9,600

### 協会けんぽ（医療分）の5年収支見通し（機械的試算）

（平成27年度～平成31年度）

—平成27年9月試算—

- 協会けんぽ（医療分）の平成26年度決算を定元とし、一定の前提をおいて、平成27年度から平成31年度までの5年間の収支見直しを行った。



平成27年度～平成31年度の収支見通しの前提について（平成27年9月試算）  
（一定の前提に基づく機械的試算）

#### 1. 5年収支見通しの主な前提

##### （1）被保険者数等の見直し

- 平成27年度の被保険者数は、平成27年3月の被保険者数（実績）に平成24年度から平成26年度の3ヶ年の伸びの平均（実績）を乗じて推計した。
- 平成28年度の被保険者数は、平成28年3月の被保険者数（見込み）に平成24年度から平成26年度の3ヶ年の伸びの平均（実績）を乗じて推計した。
- 平成29年度以降の被保険者数等は、「日本の将来推計人口」（平成24年1月国立社会保障・人口問題研究所）の出生中位（死亡中位）を基礎として、年齢階級毎の人口に占める協会けんぽの被保険者数等の割合を一定とした。

##### （2）総報酬額の見直し

- 平成27年度と28年度の賃金上昇率は、平成24年度～26年度の標準報酬月額の実績等を勘案し、対前年度比で0.8%とした。



- 平成 29 年度以降の賃金上昇率は、次の 3 ケースを使用した。

	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度
I 低成長ケース (注) ×0.5	1.45%	1.4%	1.35%
II 0% で一定	0%	0%	0%
III 過去 10 年間の平均で一定	▲0.2%	▲0.2%	▲0.2%

(注) 低成長ケースは、内閣府の「中長期の経済財政に関する試算 (平成 26 年 1 月 20 日)」の参考ケースに準拠する経済前提であり、厚生労働省「国民年金及び厚生年金に係る財政の現況及び見通し (平成 26 年財政検証結果)」(平成 26 年 6 月) における低成長 (ケース F~ケース H) にも用いられているものである。

### (3) 保険給付費の見直し

- 医療給付費は、平成 24 年度～平成 26 年度の協会けんぽなどの医療費の伸びの平均 (実績) を使用した。但し、平成 29 年度以降は、次の年齢階級別医療費の伸びを使用した。

70 歳未満	1.5%
70 歳以上 75 歳未満	0.4%
75 歳以上 (後期高齢者支援金の推計に使用)	0.6%

- 現金給付は、給付の性格に応じ、被保険者数等及び総報酬額の見直しを使用した。但し、平成 27 年度と平成 28 年度は、医療給付費と同様に、平成 24 年度～平成 26 年度の伸びの平均 (実績) を使用した。

## 2. 制度前提

- 平成 27 年 5 月に成立した「持続可能な医療保険制度を構築するための国民健康保険法等の一部を改正する法律」の制度改正等について、下記の影響額等を試算に織り込んでいる。但し、平成 29 年 4 月に予定されている消費税の引上げに伴う診療報酬改定の影響<sup>(注)</sup>は織り込んでいない。

(注) 消費税対応分は、平成 26 年 4 月の 5% から 8% への引き上げの影響 (1.36%) を参考に、機械的に仮置きしている。

#### (参考) 主な制度改正事項

- 標準報酬月額の上限引上げ (28 年度実施)
- 標準賞与額の上限引上げ (28 年度実施)
- 入院時食事療養の標準負担額の改正 (現在 1 食 260 円、28 年度から 360 円、30 年度から 460 円)
- 協会けんぽの国庫補助率 16.4%。但し、準備金が法定準備金を超える場合、新たに積み立てられる準備金の 16.4% を国庫補助から減額 (27 年度実施)
- 後期高齢者支援金の総報酬割 (27 年度: 1/2、28 年度: 2/3、29 年度以降: 全額)
- 前期高齢者納付金における前期高齢者に係る後期高齢者支援金の調整は、総報酬及び前期高齢者加入率を基に算定 (29 年度実施)

### 3. 法定準備金について

協会けんぽは、保険給付費及び高齢者医療への拠出金（国庫補助を除く）の1ヵ月分の準備金を積み立てなければならない（健康保険法第46条第1項）。

法定準備金の平成28年度～31年度の粗い見通しは以下の通り。

（単位：億円）

平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
6,300	6,500	6,600	6,600

### （参考）総報酬及び医療費の伸び率（実績）

#### 被保険者1人当たり総報酬の伸び率の推移

平成〃〃年度

（単位：%）

17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	10年平均 (平成17～26年度)
0.0	▲0.1	0.6	▲0.5	▲2.9	▲0.8	▲0.2	0.1	0.4	1.0	▲0.2

（出典）協会けんぽ調べ

#### 加入者1人当たり医療費の伸び率の推移

（単位：%）

	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	3年平均 (平成24～26年度)
70歳未満	3.2	2.1	1.2	1.4	1.8	1.5
70歳以上75歳未満	0.2	0.9	▲0.3	1.6	0.0	0.4
75歳以上	2.2	1.6	▲0.1	1.3	0.5	0.6

（出典）70歳未満、70歳以上75歳未満は協会けんぽ調べ、75歳以上は医療費の動向（Medias）（厚生労働省保険局）

【試算結果】

①現在の保険料率（10%）を据え置いた場合

（単位：億円）

賃金上昇率		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
I 低成長 ケース×0.5	保険料率	10.0%	10.0%	10.0%	10.0%	10.0%
	収支差	2,700	2,800	1,000	1,400	1,300
	準備金	13,300	16,100	17,200	18,500	19,800
II 0%で一定	保険料率	10.0%	10.0%	10.0%	10.0%	10.0%
	収支差	2,700	2,800	▲ 100	▲ 600	▲ 1,700
	準備金	13,300	16,100	16,000	15,400	13,700
III 過去10年間の 平均で一定	保険料率	10.0%	10.0%	10.0%	10.0%	10.0%
	収支差	2,700	2,800	▲ 200	▲ 900	▲ 2,100
	準備金	13,300	16,100	15,900	15,000	12,800

②均衡保険料率（単年度収支が均衡する保険料率）

賃金上昇率	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
I 低成長ケース×0.5	10.0%	9.7%	9.9%	9.8%	9.8%
II 0%で一定	10.0%	9.7%	10.0%	10.1%	10.2%
III 過去10年間の平均で一定	10.0%	9.7%	10.0%	10.1%	10.3%

（注1）平成27年度は10%としている。

（注2）均衡保険料率は小数点第2位以下を四捨五入している。

協会けんぽ（医療分）の収支見通し

○ 賃金の伸び；低成長ケース×0.5

○ 保険料率；現在の保険料率（10%）を据え置いた場合

（単位：億円）

区 分		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
収入	保険料収入（医療分）	79,900	81,900	82,300	82,600	83,000
	国庫補助等（医療分）	11,800	11,600	10,600	10,900	11,000
	その他	100	100	100	100	100
	計	91,800	93,600	93,000	93,700	94,000
支出	保険給付費	53,200	55,000	55,600	55,800	56,000
	前期高齢者納付金	14,800	15,200	15,400	15,600	15,700
	後期高齢者支援金	17,700	17,500	18,200	18,600	19,200
	退職者給付拠出金	1,700	1,300	900	400	0
	その他	1,800	1,800	1,800	1,800	1,800
	計	89,200	90,800	91,900	92,300	92,800
収支差		2,700	2,800	1,000	1,400	1,300
年度末準備金残高		13,300	16,100	17,200	18,500	19,800
保険料率		10.0%	10.0%	10.0%	10.0%	10.0%

協会けんぽ（医療分）の収支見通し

- 賃金の伸び：平成29年度以降 0%
- 保険料率：現在の保険料率（10%）を据え置いた場合

（単位：億円）

区 分		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
収入	保険料収入（医療分）	79,900	81,900	81,100	80,300	79,600
	国庫補助等（医療分）	11,800	11,600	10,600	11,100	11,200
	その他	100	100	100	100	100
	計	91,800	93,600	91,800	91,500	90,900
支出	保険給付費	53,200	55,000	55,600	55,700	55,800
	前期高齢者納付金	14,800	15,200	15,400	15,600	15,700
	後期高齢者支援金	17,700	17,500	18,200	18,600	19,200
	退職者給付拠出金	1,700	1,300	900	400	0
	その他	1,800	1,800	1,800	1,800	1,800
	計	89,200	90,800	91,900	92,200	92,600
収支差		2,700	2,800	▲ 100	▲ 600	▲ 1,700
年度末準備金残高		13,300	16,100	16,000	15,400	13,700
保険料率		10.0%	10.0%	10.0%	10.0%	10.0%

協会けんぽ（医療分）の収支見通し

- 賃金の伸び：平成29年度以降 ▲0.2%
- 保険料率：現在の保険料率（10%）を据え置いた場合

（単位：億円）

区 分		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
収入	保険料収入（医療分）	79,900	81,900	80,900	80,000	79,100
	国庫補助等（医療分）	11,800	11,600	10,600	11,100	11,200
	その他	100	100	100	100	100
	計	91,800	93,600	91,600	91,200	90,400
支出	保険給付費	53,200	55,000	55,600	55,700	55,800
	前期高齢者納付金	14,800	15,200	15,400	15,600	15,700
	後期高齢者支援金	17,700	17,500	18,200	18,600	19,200
	退職者給付拠出金	1,700	1,300	900	400	0
	その他	1,800	1,800	1,800	1,800	1,800
	計	89,200	90,800	91,800	92,200	92,500
収支差		2,700	2,800	▲ 200	▲ 900	▲ 2,100
年度末準備金残高		13,300	16,100	15,900	15,000	12,800
保険料率		10.0%	10.0%	10.0%	10.0%	10.0%

協会けんぽ（医療分）の収支見通し

○ 賃金の伸び；低成長ケース×0.5

○ 保険料率；均衡保険料率（単年度収支が均衡する保険料率）

（単位：億円）

	区 分	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
収入	保険料収入（医療分）	79,900	79,000	81,200	81,200	81,700
	国庫補助等（医療分）	11,800	11,600	10,600	10,900	11,000
	その他	100	100	100	100	100
	計	91,800	90,800	91,900	92,300	92,800
支出	保険給付費	53,200	55,000	55,600	55,800	56,000
	前期高齢者納付金	14,800	15,200	15,400	15,600	15,700
	後期高齢者支援金	17,700	17,500	18,200	18,600	19,200
	退職者給付拠出金	1,700	1,300	900	400	0
	その他	1,800	1,800	1,800	1,800	1,800
	計	89,200	90,800	91,900	92,300	92,800
収支差		2,700	0	0	0	0
年度末準備金残高		13,300	13,300	13,300	13,300	13,300
保険料率		10.0%	9.7%	9.9%	9.8%	9.8%

協会けんぽ（医療分）の収支見通し

○ 賃金の伸び；平成29年度以降 0%

○ 保険料率；均衡保険料率（単年度収支が均衡する保険料率）

（単位：億円）

	区 分	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
収入	保険料収入（医療分）	79,900	79,000	81,200	81,000	81,200
	国庫補助等（医療分）	11,800	11,600	10,600	11,100	11,200
	その他	100	100	100	100	100
	計	91,800	90,800	91,900	92,200	92,600
支出	保険給付費	53,200	55,000	55,600	55,700	55,800
	前期高齢者納付金	14,800	15,200	15,400	15,600	15,700
	後期高齢者支援金	17,700	17,500	18,200	18,600	19,200
	退職者給付拠出金	1,700	1,300	900	400	0
	その他	1,800	1,800	1,800	1,800	1,800
	計	89,200	90,800	91,900	92,200	92,600
収支差		2,700	0	0	0	0
年度末準備金残高		13,300	13,300	13,300	13,300	13,300
保険料率		10.0%	9.7%	10.0%	10.1%	10.2%

協会けんぽ（医療分）の収支見通し

○ 賃金の伸び：平成29年度以降 ▲0.2%

○ 保険料率：均衡保険料率（単年度収支が均衡する保険料率）

（単位：億円）

	区 分	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
収 入	保険料収入（医療分）	79,900	79,000	81,200	80,900	81,200
	国庫補助等（医療分）	11,800	11,600	10,600	11,100	11,200
	その他	100	100	100	100	100
	計	91,800	90,800	91,800	92,200	92,500
支 出	保険給付費	53,200	55,000	55,600	55,700	55,800
	前期高齢者納付金	14,800	15,200	15,400	15,600	15,700
	後期高齢者支援金	17,700	17,500	18,200	18,600	19,200
	退職者給付拠出金	1,700	1,300	900	400	0
	その他	1,800	1,800	1,800	1,800	1,800
	計	89,200	90,800	91,800	92,200	92,500
収支差		2,700	0	0	0	0
年度末準備金残高		13,300	13,300	13,300	13,300	13,300
保険料率		10.0%	9.7%	10.0%	10.1%	10.3%

（別紙）

均衡保険料率を踏まえ保険料率を変更した場合

(1) 平成28年度以降 9.7% (単位: 億円)

賞金上昇率		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
I 低成長 ケース×0.5	保険料率	10.0%	9.7%	9.7%	9.7%	9.7%
	収支差	2,700	400	▲1,400	▲1,100	▲1,200
	準備金	13,300	13,700	12,200	11,100	9,900
II 0%で一定	保険料率	10.0%	9.7%	9.7%	9.7%	9.7%
	収支差	2,700	400	▲2,500	▲3,100	▲4,100
	準備金	13,300	13,700	11,200	8,100	4,000
III 過去10年間の 平均で一定	保険料率	10.0%	9.7%	9.7%	9.7%	9.7%
	収支差	2,700	400	▲2,700	▲3,300	▲4,500
	準備金	13,300	13,700	11,000	7,700	3,200

(2) 平成28年度以降 9.8% (単位: 億円)

賞金上昇率		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
I 低成長 ケース×0.5	保険料率	10.0%	9.8%	9.8%	9.8%	9.8%
	収支差	2,700	1,200	▲600	▲300	▲400
	準備金	13,300	14,500	13,900	13,600	13,200
II 0%で一定	保険料率	10.0%	9.8%	9.8%	9.8%	9.8%
	収支差	2,700	1,200	▲1,700	▲2,300	▲3,300
	準備金	13,300	14,500	12,800	10,500	7,300
III 過去10年間の 平均で一定	保険料率	10.0%	9.8%	9.8%	9.8%	9.8%
	収支差	2,700	1,200	▲1,900	▲2,500	▲3,700
	準備金	13,300	14,500	12,600	10,100	6,400

(3) 平成28年度以降 9.9% (単位: 億円)

賞金上昇率		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
I 低成長 ケース×0.5	保険料率	10.0%	9.9%	9.9%	9.9%	9.9%
	収支差	2,700	2,000	200	500	500
	準備金	13,300	15,300	15,500	16,100	16,500
II 0%で一定	保険料率	10.0%	9.9%	9.9%	9.9%	9.9%
	収支差	2,700	2,000	▲900	▲1,400	▲2,500
	準備金	13,300	15,300	14,400	13,000	10,500
III 過去10年間の 平均で一定	保険料率	10.0%	9.9%	9.9%	9.9%	9.9%
	収支差	2,700	2,000	▲1,000	▲1,700	▲2,900
	準備金	13,300	15,300	14,300	12,500	9,600

協会けんぽ（医療分）の収支見通し

- 賞金の伸び：低成長ケース×0.5
- 保険料率：平成28年度以降 保険料率を9.7%に変更した場合

(単位: 億円)

区 分		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
収入	保険料収入（医療分）	79,900	79,400	79,800	80,100	80,500
	国庫補助等（医療分）	11,800	11,600	10,600	10,900	11,000
	その他	100	100	100	100	100
	計	91,800	91,200	90,500	91,200	91,500
支出	保険給付費	53,200	55,000	55,600	55,800	56,000
	前期高齢者納付金	14,800	15,200	15,400	15,600	15,700
	後期高齢者支援金	17,700	17,500	18,200	18,600	19,200
	退職者給付拠出金	1,700	1,300	900	400	0
	その他	1,800	1,800	1,800	1,800	1,800
	計	89,200	90,800	91,900	92,300	92,800
収支差	2,700	400	▲1,400	▲1,100	▲1,200	
年度末準備金残高	13,300	13,700	12,200	11,100	9,900	
保険料率	10.0%	9.7%	9.7%	9.7%	9.7%	

協会けんぽ（医療分）の収支見通し

- 賃金の伸び；平成29年度以降 0%
- 保険料率；平成28年度以降 保険料率を9.7%に変更した場合

(単位：億円)

	区 分	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
収入	保険料収入（医療分）	79,900	79,400	78,600	77,900	77,200
	国庫補助等（医療分）	11,800	11,600	10,600	11,100	11,200
	その他	100	100	100	100	100
	計	91,800	91,200	89,300	89,100	88,500
支出	保険給付費	53,200	55,000	55,600	55,700	55,800
	前期高齢者納付金	14,800	15,200	15,400	15,600	15,700
	後期高齢者支援金	17,700	17,500	18,200	18,600	19,200
	退職者給付拠出金	1,700	1,300	900	400	0
	その他	1,800	1,800	1,800	1,800	1,800
	計	89,200	90,800	91,900	92,200	92,600
収支差		2,700	400	▲2,500	▲3,100	▲4,100
年度末準備金残高		13,300	13,700	11,200	8,100	4,000
保険料率		10.0%	9.7%	9.7%	9.7%	9.7%

協会けんぽ（医療分）の収支見通し

- 賃金の伸び；平成29年度以降 ▲0.2%
- 保険料率；平成28年度以降 保険料率を9.7%に変更した場合

(単位：億円)

	区 分	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
収入	保険料収入（医療分）	79,900	79,400	78,500	77,600	76,700
	国庫補助等（医療分）	11,800	11,600	10,600	11,100	11,200
	その他	100	100	100	100	100
	計	91,800	91,200	89,200	88,800	88,000
支出	保険給付費	53,200	55,000	55,600	55,700	55,800
	前期高齢者納付金	14,800	15,200	15,400	15,600	15,700
	後期高齢者支援金	17,700	17,500	18,200	18,600	19,200
	退職者給付拠出金	1,700	1,300	900	400	0
	その他	1,800	1,800	1,800	1,800	1,800
	計	89,200	90,800	91,800	92,200	92,500
収支差		2,700	400	▲2,700	▲3,300	▲4,500
年度末準備金残高		13,300	13,700	11,000	7,700	3,200
保険料率		10.0%	9.7%	9.7%	9.7%	9.7%



協会けんぽ（医療分）の収支見通し

○ 賞金の伸び；低成長ケース×0.5

○ 保険料率；平成28年度以降 保険料率を9.8%に変更した場合

(単位：億円)

区 分		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
収入	保険料収入（医療分）	79,900	80,200	80,600	81,000	81,300
	国庫補助等（医療分）	11,800	11,600	10,600	10,900	11,000
	その他	100	100	100	100	100
	計	91,800	92,000	91,300	92,000	92,400
支出	保険給付費	53,200	55,000	55,600	55,800	56,000
	前期高齢者納付金	14,800	15,200	15,400	15,600	15,700
	後期高齢者支援金	17,700	17,500	18,200	18,600	19,200
	退職者給付拠出金	1,700	1,300	900	400	0
	その他	1,800	1,800	1,800	1,800	1,800
	計	89,200	90,800	91,900	92,300	92,800
収支差		2,700	1,200	▲600	▲300	▲400
年度末準備金残高		13,300	14,500	13,900	13,600	13,200
保険料率		10.0%	9.8%	9.8%	9.8%	9.8%

協会けんぽ（医療分）の収支見通し

○ 賞金の伸び；平成29年度以降 0%

○ 保険料率；平成28年度以降 保険料率を9.8%に変更した場合

(単位：億円)

区 分		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
収入	保険料収入（医療分）	79,900	80,200	79,500	78,700	78,000
	国庫補助等（医療分）	11,800	11,600	10,600	11,100	11,200
	その他	100	100	100	100	100
	計	91,800	92,000	90,200	89,900	89,300
支出	保険給付費	53,200	55,000	55,600	55,700	55,800
	前期高齢者納付金	14,800	15,200	15,400	15,600	15,700
	後期高齢者支援金	17,700	17,500	18,200	18,600	19,200
	退職者給付拠出金	1,700	1,300	900	400	0
	その他	1,800	1,800	1,800	1,800	1,800
	計	89,200	90,800	91,900	92,200	92,600
収支差		2,700	1,200	▲1,700	▲2,300	▲3,300
年度末準備金残高		13,300	14,500	12,800	10,500	7,300
保険料率		10.0%	9.8%	9.8%	9.8%	9.8%

協会けんぽ（医療分）の収支見通し

- 賞金の伸び；平成29年度以降 ▲0.2%  
 ○ 保険料率；平成28年度以降 保険料率を9.8%に変更した場合

(単位：億円)

区 分		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
収入	保険料収入（医療分）	79,900	80,200	79,300	78,400	77,500
	国庫補助等（医療分）	11,800	11,600	10,600	11,100	11,200
	その他	100	100	100	100	100
	計	91,800	92,000	90,000	89,600	88,800
支出	保険給付費	53,200	55,000	55,600	55,700	55,800
	前期高齢者納付金	14,800	15,200	15,400	15,600	15,700
	後期高齢者支援金	17,700	17,500	18,200	18,600	19,200
	退職者給付拠出金	1,700	1,300	900	400	0
	その他	1,800	1,800	1,800	1,800	1,800
	計	89,200	90,800	91,800	92,200	92,500
収支差		2,700	1,200	▲1,900	▲2,500	▲3,700
年度末準備金残高		13,300	14,500	12,600	10,100	6,400
保険料率		10.0%	9.8%	9.8%	9.8%	9.8%

協会けんぽ（医療分）の収支見通し

- 賞金の伸び；低成長ケース×0.5  
 ○ 保険料率；平成28年度以降 保険料率を9.9%に変更した場合

(単位：億円)

区 分		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
収入	保険料収入（医療分）	79,900	81,000	81,400	81,800	82,100
	国庫補助等（医療分）	11,800	11,600	10,600	10,900	11,000
	その他	100	100	100	100	100
	計	91,800	92,800	92,100	92,800	93,200
支出	保険給付費	53,200	55,000	55,600	55,800	56,000
	前期高齢者納付金	14,800	15,200	15,400	15,600	15,700
	後期高齢者支援金	17,700	17,500	18,200	18,600	19,200
	退職者給付拠出金	1,700	1,300	900	400	0
	その他	1,800	1,800	1,800	1,800	1,800
	計	89,200	90,800	91,900	92,300	92,800
収支差		2,700	2,000	200	500	500
年度末準備金残高		13,300	15,300	15,500	16,100	16,500
保険料率		10.0%	9.9%	9.9%	9.9%	9.9%

協会けんぽ（医療分）の収支見通し

- 賃金の伸び；平成29年度以降 0%
- 保険料率；平成28年度以降 保険料率を9.9%に変更した場合

(単位：億円)

区 分		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
収入	保険料収入（医療分）	79,900	81,000	80,300	79,500	78,800
	国庫補助等（医療分）	11,800	11,600	10,600	11,100	11,200
	その他	100	100	100	100	100
	計	91,800	92,800	91,000	90,700	90,100
支出	保険給付費	53,200	55,000	55,600	55,700	55,800
	前期高齢者納付金	14,800	15,200	15,400	15,600	15,700
	後期高齢者支援金	17,700	17,500	18,200	18,600	19,200
	退職者給付拠出金	1,700	1,300	900	400	0
	その他	1,800	1,800	1,800	1,800	1,800
	計	89,200	90,800	91,900	92,200	92,600
収支差		2,700	2,000	▲900	▲1,400	▲2,500
年度末準備金残高		13,300	15,300	14,400	13,000	10,500
保険料率		10.0%	9.9%	9.9%	9.9%	9.9%

協会けんぽ（医療分）の収支見通し

- 賃金の伸び；平成29年度以降 ▲0.2%
- 保険料率；平成28年度以降 保険料率を9.9%に変更した場合

(単位：億円)

区 分		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
収入	保険料収入（医療分）	79,900	81,000	80,100	79,200	78,300
	国庫補助等（医療分）	11,800	11,600	10,600	11,100	11,200
	その他	100	100	100	100	100
	計	91,800	92,800	90,800	90,400	89,600
支出	保険給付費	53,200	55,000	55,600	55,700	55,800
	前期高齢者納付金	14,800	15,200	15,400	15,600	15,700
	後期高齢者支援金	17,700	17,500	18,200	18,600	19,200
	退職者給付拠出金	1,700	1,300	900	400	0
	その他	1,800	1,800	1,800	1,800	1,800
	計	89,200	90,800	91,800	92,200	92,500
収支差		2,700	2,000	▲1,000	▲1,700	▲2,900
年度末準備金残高		13,300	15,300	14,300	12,500	9,600
保険料率		10.0%	9.9%	9.9%	9.9%	9.9%

今後の運営委員会・支部評議会のスケジュール（現時点での見込み）

	9月	10月	11月	12月	1月	2、3月
運営委員会	H28 平均保険料率				H28 都道府県 単位保険料率	
			支部間のインセンティブ制度			
		H28 事業計画				
支部評議会	9/18	10/14	11/25	12/9	12/25	
			評議会意見 の提出			
					下旬	保 険 料 率 の 広 報 等
国						
	～9/27 通常国会			政府予算案 閣議決定	激変緩和率 の提示	保険料率 の認可等
	後期高齢者支援金の加算・減算制度検討ワーキンググループ(厚労省)					事業計画、 予算の認可等